



# 東陽の旋風かぜ ～自立貢献～

令和5年3月17日（金）No 43 発行  
文責：松本 卓也

## 先輩方が築かれてきたこの学校を 発展させていくために、努力していきます

卒業式の際、生徒会長のIさんが送辞で述べた言葉です。「No limit（限界はない）」をテーマに掲げ、「自分たちの学校は自分たちで創る」という主体性を発揮し、東陽中学校の新時代を切り拓いてくれた3年生が卒業して2週間……。新年度に向けての準備がスタートしました。一部、ご紹介します。※詳細は学校HPをご覧ください。



**【学習面】** 夢を実現するための礎となる「確かな学力」の育成に向け、①子どもたちが主体的な学び手となる授業改善と、②家庭と連携した学習習慣の形成（家庭学習の充実）に取り組んでいます。2月16日（木）からは、朝自習の時間に弱点克服ドリルの取組を始めました。教科担当だけでなく、複数体制で支援を行っています。

**【運動面】** 昨年5月から始めた朝ランニング、部活動生を中心に継続して取り組んでいます。バドミントン部顧問のM教諭も、次年度の熊本城マラソンに向け、トレーニングを始めました。「一年前のペースでは物足りない……。」子どもたちは、体力がついてきていることを実感しています。

**【地域貢献】** 3月中学生ボランティアガイドを5日（日）に行いました。今回から、有名な白髪岳天然石橋をご案内するBコース「①石匠館→②橋本勘五郎さんの生家→③権三別当堂の石垣→④白髪岳天然石橋→⑤菅原神社のひねり灯籠→⑥鍛冶屋下橋」のガイドも始めました。卒業した3年生もサポート役として参加してくれました。



### 9年間を見通した、子どもの「育ち」と「学び」をつなげるために

8日（水）、東陽中校区小中一貫・連携教育合同会議を東陽小で行いました。小中共通の学校教育目標「ふるさと東陽を愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生き、夢実現に向け未来を切り拓く東陽っ子の育成」に向け、校種の枠を超えて、東陽っ子の「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した指導を展開していきます。保護者の皆様からの温かいご支援とご助言をよろしくお願ひします。



### 「東陽の未来を託す子どもたち」を育てるために

7日（火）、第4回東陽小中学校運営協議会が開催されました。会の中では、①東陽小・中学校の取組について（学校評価を受けて）、②来年度の方向性について熟議がなされ、「東陽町を大好きな児童生徒を育てる」ために、学校、地域でどのような取組をしていけばいいか？、さまざまなお意見を伺うことができました。貴重なご意見をもとに「東陽の未来を託す子どもたち」を9年間育てていきます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）